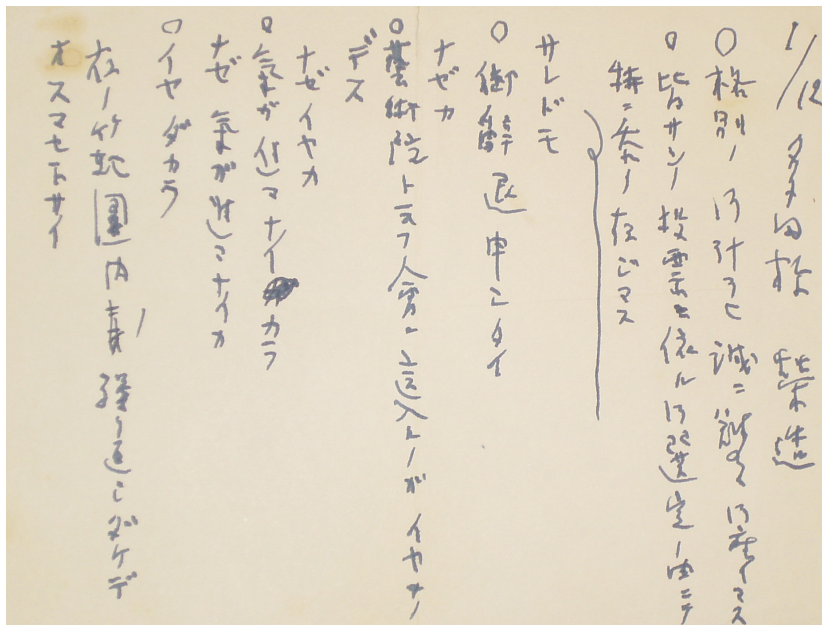


Library Mate

多田基旧蔵資料と内田百閒およびそのほか — 貴重な近代文学資料 —

図書館長 栗原 敦
(大学国文学科教授)



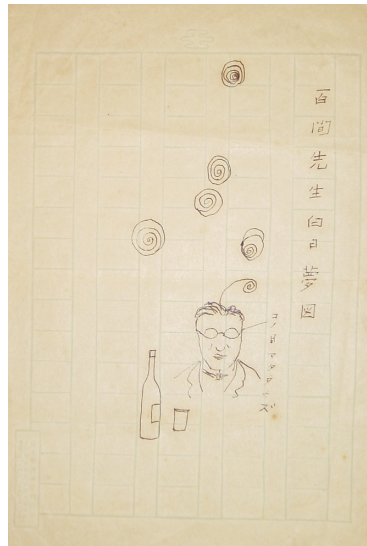
内田百閒自筆メモ「イヤダカラ……」書体

本学の学長、理事長、学園長を歴任された故多田基先生旧蔵の書簡類と蔵書の一部が昨秋本学園に寄贈されることとなって、本図書館がひととおりの整理を行い、本年一月三十一日に、ご子息の杉彦様・毅様をお迎えして正式に寄贈の運びとなりました。ここにいたる経緯は飯塚幸子前学長の仲立ちによるもので、誠に有り難く感謝する次第です。

資料は多田基先生が関わりのあった文学者

の書簡（一部本学の関係者のものを含む）がほとんどで、とりわけ夏目漱石の弟子として出発し、『冥途』をはじめとする特異な幻想的小説や『百鬼園随筆』をはじめとする飄々たる味わいの随筆・エッセイで知られる内田百閒の多田先生あて書簡が中心をなしています。いただいた蔵書もほとんど百閒の初版本です。色紙や百閒のブロンズ像もあります。

(次項に続く)



芥川龍之介筆百閒像戲画

もちろん、この中にはすでによく知られたものがある、たとえば、戦後百閒を芸術院会員に推薦することが伝わったとき、それを辞退する意志を固めた百閒が多田先生を使者に立てて、その意向を述べさせた口上「イヤダカラ……」の自筆メモ、また、多田先生が百閒より預かって大切に保存されてきた、芥川龍之介筆百閒像戲画も含まれています。これらは、手近なもので示せば、例えば『新潮日本文学アルバム42 内田百閒』(93年12月、新潮社刊)にも収録されていますから、ご存じの方も多いでしょう。

多田先生の百閒に関する思い出・著述のおおよそは『内田百閒先生の思い出』(88年12月、学校法人実践女子学園「多田先生の米寿を祝う会」刊)にまとめられましたが、「イヤダカラ……」の口上のことも収められています。ぜひ、その背景も一緒に考え合わせて、百閒のポリシー(思想・信条)がどのあたりから生まれてきたものなのか、研究して下さいですね。

さて、現在、図書館ではこれら案内状、名刺、写真などあわせて、のべにすると二百をこえるものについて、皆さんに紹介できるよう準備中です。百閒以外の文学者には野上豊一郎、弥生子、高橋義孝の名も見えます。なんととっても百閒書簡が多数を占めているので、大学国文学科の棚田輝嘉教授や国文学専攻の大学院生の協力も得て翻刻、ある程度整

えられたところで展示会を開催したいと考えています。

実用向きの連絡葉書の中にも、百閒の人柄、ユーモアあふれる振る舞いが伺えます。多田先生ご長男の杉彦様の名付け親でもあったそうですが、孫のように思っておられたのでしょう、「オ中元ノプレゼント」を早く取りにいらっしゃいという杉彦様あての葉書(昭和二十九年七月十五日付、十六日消印)もあります。お金のやりくりの依頼は、もちろん多々含まれていますが、若い多田先生への信頼と、師としての配慮や思いやりやけじめなどの微妙な関係が滲み出ているとも思われます。本名の内田栄造の他、百閒、百鬼、鬼苑、合羽鬼、希塩酸人などなどの署名にも興味を引かれるにちがいません。



阿房列車(昭和27年7月刊)



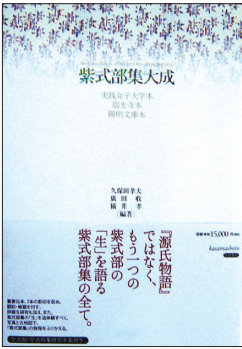
第二阿房列車(昭和29年1月刊)

『源氏物語』ともう一つの……

—「源氏物語千年紀」展に寄せて—

大学 国文学科

教授 横井 孝



いきなり宣伝めいた話で恐縮ですが、今年5月に久保田孝夫氏（大阪成蹊短期大学教授）・廣田收氏（同志社大学教授）と私の三人で『紫式部集大成』（笠間書院）を出版しました。紫式部の家集に関する写真資料と解説論文を収録し、B5判

460ページという大きな本になりました。あらかたの基本的資料を可能なかぎり掲載したためです。その本の帯（コシマキ）には、編集者によって『源氏物語』ではなく、もう一つの紫式部の「生」を語る紫式部集の全て」というキャッチ・コピーがつけられています。

今回のこの本が、もし価値を有すると思えば、それは京都・瑞光寺と陽明文庫の写本と一緒に、本学の写本を一書のかたちで公開したところにあるのではないのでしょうか。紫式部は『源氏物語』の作者として有名ですが、ただそれだけの人物ではなく、もう一つの「生」（＝文学世界）を語っているのが、その個人の歌集『紫式部集』だというわけです。そしてこれが重要な点なのですが、かつて同志社大学教授だった南波浩氏（2000年没）によって、本学の写本が当該作品の最重要伝本だと紹介されて以来、その見解が定説化していて、学界では実践女子大学本を基幹本文として読むことから始まるというのが現状なのです。共編者の久保田・廣田両氏は、その南波氏の高弟にあたります。

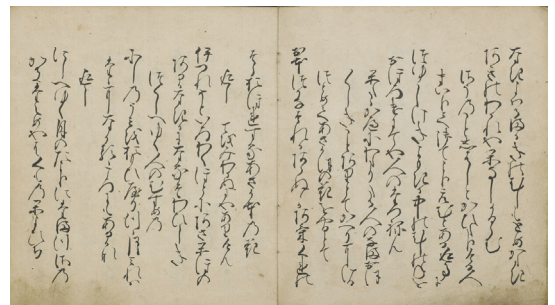
さて、ここでようやく本題にはいりましょう。

今年は日本各地で「源氏物語千年紀」の企画が行われていることは、みなさん何かでごらんになっているのではないのでしょうか。『紫式部日記』寛弘5年（1008）11月1日の記事に『源氏物語』の存在が明記されて、

今年はちょうど1000年という区切りのよい年であることを記念する行事です。本学でも、学祖以来縁の深い文学作品であることから、秋にこの「千年紀」の企画が展開されます。ひとつは9月末から11月にかけて毎土曜6週連続の公開講演であり、もうひとつが本学所蔵の名品展「みやびへの憧れ」です。

この展示会に、上記の『紫式部集』が展示されることはいうまでもありません。4月26日から6月8日まで京都文化博物館における「源氏物語千年紀展」に貸し出され、おもに関西の方々へのお披露目は済みましたが、関東の方々へは今回がはじめてです。

また同時に、学界では『紫式部集』と同じように注目されている『源氏物語』のテキスト（たとえば明融本など）も陳列されます。もちろん文字のテキストばかりでなく、『源氏物語』の周辺を彩る『榮花物語』『住吉物語絵巻』、奈良絵本『おちくぼ』『さごろも』など目にも鮮やかな豪華本が、ところ狭しという具合に展示されます。本学にとっても空前の企画といってよいのではないのでしょうか。みなさんにごらんになることをお誘いすると同時に、私もこの際に、もう一度じっくり見学してみたいと思っています。



紫式部集 表紙(上)と本文(下)

子どもの気持ちに寄り添う絵本



大学 生活文化学科

教授 原口 純子

何十年にもわたって子どもに愛され読み継がれている絵本がいくつもあります。

たとえば「てぶくろ」「もりのなか」「どろんこハリー」「いやいやえん」などなど。どうしてこれらの絵本は子どもの心をつかんで離さないのでしょうか。



保育学の視点から見るとなるほどとうなずけることが分かります。

保育の原点は子ども理解です。子ども理解とは子どもの思いや気持ちが分かること。子どもの立場

に立って感じたり、かかわったりすることで。これらの読み継がれている絵本が実はきわめて子ども理解の行き届いた本であることが分かります。

「受け入れる」(受容) というのは子どもの言葉や動きや気持ちがあるがままに受け入れる幼児理解にのっとった保育者としての基本的態度ですが、子どもは母親や保育者や友達に拒否されることなく「いいですよ」「どうぞ」と受け入れられることにどんなに安心感を抱くでしょう。「てぶくろ」「ガンピーさんのふなあそび」「ぞうくんのさんぼ」など、仲間を受け入れていくお話しはたくさんあります。どれも次々に来る動物を拒まず、受け入れています。

次に「おやすみなさいフランス」では、7時になったから寝る時間ですよといわれても、まだまだ寝たくないあなぐまのフランスはミルクがほしいとかおんぶしてとかおやすみのキスをしてとか次々に要求するのですが、両親は「ああいよ」「ええいいわ」と答え、ミルクといえばミルクを与え、キスとい

えばキスをし、おんぶといえばおんぶをします。けれどもただ一点「テレビをみたい」の要求には断固として「いけません」と拒否しています。決定的にいけないこと以外はすべて優しく受け入れています。教科書のような見事な対応です。

「共感する」というのは相手の立場に立った理解です。子どもに人気のある「いやいやえん」「ティッチ」筒井頼子作・林明子絵のコンビのシリーズによる「はじめてのおつかい」や「とんことり」などどれも子どもの目線に立った物語や絵は子どもの共感を呼ぶものです。特に林明子の絵は表情の描き方や町並みの書き込みなど子どもは隅から隅までよく絵を読んでいきます。

これらの絵本の作家が保育者(いやいやえんの中川李枝子)であったり、「おやすみなさいフランス」に見られるわが子をモデルにしている親の作品であったりすることを思えば、子どもの気持ちのよく分かる、幼児理解に優れた作家の作品であることが理解されます。



絵本は楽しいものです。美しいものです。たくさん心の経験をもたらします。私たちは優れた絵本から子どもを学ぶことができます。

今年度より実践女子大学図書館に絵本コーナーが設置されることになりました。ともに喜び活用しましょう。

児童書と絵本の電子ブック －OPACで検索・利用可能です－



インターネットには、誰もが自由に利用できる電子資料が無数にあります。児童書や絵本も例外ではなく、それらも電子化され皆さんの利用を待っています。当館では、こうした誰もが利用できる児童書や絵本のコンテンツをOPACで検索できるようにしています。

OPACでの閲覧方法

OPACで検索可能なタイトルを知りたい場合は、「NDL児童書デジタル」、「International children's digital」、「Baldwin library of children's」、「Literature for children」のいずれかのフレーズを入れてキーワード検索を行って下さい。ここでは紹介していませんが、世界中の民話や伝承のデジタル絵本も検索可能です。

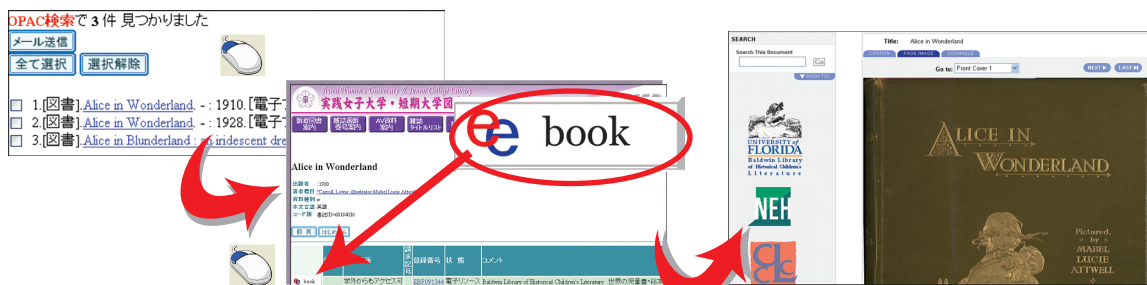


図1 電子ブックのアイコンをクリック

図2 電子ブックが閲覧可能になります

OPACで検索可能な児童書と絵本の電子ブック

1. 児童書デジタル・ライブラリ

(<http://kodomo4.kodomo.go.jp/web/ippangz/html/TOP.html>)

国際子ども図書館が所蔵する昭和30年以前に日本で刊行された児童書約1,200件の電子化コレクション。

2. ICDL - International Children's Digital Library

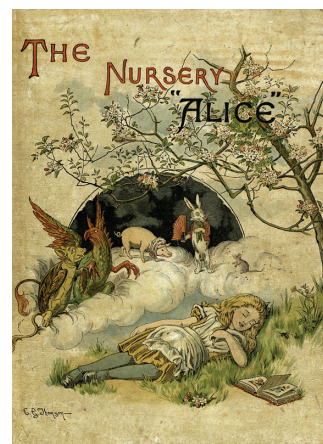
(<http://www.icdlbooks.org/>)

子どもの本の国際電子図書館による児童書・絵本約1,300件の電子化コレクション。欧文だけでなく、馴染みの薄い言語（ペルシャ語、アラビア語など）の児童書も含まれているのが特徴。

3. Baldwin Library of Children's Literature

(<http://www.uflib.ufl.edu/ufdc/UFDC.aspx?c=juv>)

フロリダ大学図書館が所蔵する児童書約3,200タイトルを電子化したもの。17世紀初期に英米で出版された児童書も含んでいる。同サイトには、ルイス・キャロルの「不思議の国のアリス」(右図)とダニエル・デフォーの「ロビンソン・クルーソ」の異本や、アメリカの児童読み物雑誌「セント・ニコルス・マガジン」の電子化コレクションが別に設けられている。



4. Literature for Children

(<http://palmm.fcla.edu/juv/>)

フロリダ州立図書館が所蔵する1850年から1950年までの百年の間に英米で出版された児童書約1,300タイトルを電子化したもの。

補足：現在ハーバー・コリンズ（HarperCollins）社から出版されている英語児童書と絵本の中で、サンプルとして中身を読む事ができる約910件もOPACで検索できるようにしています。気に入った児童書と絵本がありましたらリクエストをお願いします。HarperCollins Children's Books (<http://www.harpercollinschildrens.com/HarperChildrens/Kids/>)

♪ Pick Up ♪

今春、本学生活環境学科を卒業した北原由季さんの卒業制作の作品である絵コ本（絵本）が日野市内の保育園や児童館、図書館など約40ヵ所に配布され、読み聞かせに利用されているのをご存知ですか。絵コ本とはどのようなものなのか、北原さんと絵本の製本・配布に協力してくださった日野市の担当者の方にお話をうかがいました。

絵コ本 オバケノモリ
～ロボットのハロルド～
作・画 きたはら ゆき



指導教授の塚原肇先生ときたはらさん

◆作者のきたはらさんに聞いてみました◆

Q：動機は何ですか。

A：小さい頃から長い期間、親しまれ愛されるという特徴が絵本にはあります。それを、何かに利用できないかという考えから、近年、問題となっている環境問題に着目し、テーマとしたのがはじまりです。環境を難しい言葉で述べるよりも、絵本を通して単純なメッセージを伝えた方がより受け入れやすくなるのではないかと考えたのです。

Q：絵コ本を制作して、周りの反応はいかがですか。

A：お礼のお手紙を頂いたり、感想の言葉などを聞かせてもらったりすることがありますが、『物を大切にできる子どもに育って欲しい』『自然に優しい子どもに育って欲しい』など、保護者の立場から子どもへの願いも強く、思った以上に環境問題に対する関心が高いの感じました。子どもや孫に読み聞かせたい…そんな絵コ本の輪の広がりが少しずつ大きくなっていくと、と嬉しいです。

◆日野市の担当者である、企画部企画調整課の牧野恵理子さんに聞いてみました◆

Q：なぜ北原さんの作品を取り上げようと思ったのですか。

A：もともと日野市と実践女子大学との連携で何かしらブランド作成を、と考えてはいましたが、大学キャンパス内の展示にあった北原さんの作品を見て、物を大切にしたい気持ちを訴えた内容と、環境をテーマにしている日野市と考えが一致したからです。絵本という点も子どもの環境教育に適していると思いました。

◆あらすじ

この物語は、おてっだいロボットのハロルドが壊れて、街に住むにんげんのかぞくに“オバケノモリ”に捨てられるところから始まります。捨てられたハロルドを修理して救ってくれたのが、オバケノモリにすむドローンじいさんというオバケでした。ドローンじいさんは「ものをたいせつにするきもち」をハロルドに気づかせてくれ、ハロルドはその想いを街のにんげんたちに伝えようと修理屋さんになって街に戻ってくるというお話です。

◆作者紹介

きたはら ゆき（北原 由季）
1985年12月8日生まれ 長野県出身
実践女子大学生生活環境学科プロダクトデザイン研究室にて、卒業制作「絵コ本」を制作
2008年3月実践女子大学卒業

Q：絵コ本を通してどのようなことを伝えたいのですか。

A：子どもたちには、ハロルドが捨てられた時の悲しみや、直してもらった時の喜びを、素直に感じて欲しいと思います。普段何気なく触れるものをハロルドに置き換えてみることで、ものの尊さを実感として捉えてもらいたいと思います。大人の方々には、自分が子どもたちのお手本になるようなつもりで、改めてもの大切さを見直すきっかけになればと思います。そして、子どもと絵コ本について語り合い、コミュニケーションを取りながら、環境への関心を高めて欲しいです。

Q：今後どのような作品をつくっていきたいですか。

A：物語のテーマには枠にとらわれず、いろいろな題材を取り入れていきたいと思っていますが、目指しているものとしては、一度だけではなく、何度も何度も繰り返し読みたくなるような…いつまでも手元に置いておきたくなるような…そんな心のこもった作品を作りたいと思います。



Q：配布先の保育園や児童館の子どもたちの反応はいかがですか。

A：子どもたちはロボットの絵を気に入っています。それに読み聞かせをすることであらすじを自然におぼえたりするので、環境を考えるきっかけになると思います。保育園の先生たちにもことばだけではなく絵本をとおして子どもたちに伝えられるということでご好評です。

～ 大学図書館・短期大学図書館の両方で所蔵しています。ぜひ、皆さん一度手にとってご覧ください！ ～

● 大学図書館のここが変わりました！ ●

大学図書館内の変更点についてお知らせします。

- その1： 地下1階に「児童書コーナー」を設けました。
「指定図書コーナー」の児童書や絵本も移動しています。
- その2： 指定図書の貸出ルール等が変わりました。
全てのタイトルについて、1冊は館内利用のみとします。
- その3： 地下2階の和書（日本語の本）で利用が少ない本を短大の地下書庫に移動しました。

短期大学図書館のここが変わりました！

短期大学図書館内の変更点についてお知らせします。

- その1： 文庫本コーナーの書架の向きを変え、ソファを設置しました。
- その2： 旅行ガイドの配架場所を、閲覧席奥から新着図書コーナーの隣に移動しました。
- その3： 指定図書の貸出ルール等が変わりました。
全てのタイトルについて、1冊は館内利用のみとします。

これからもどんどん利用してください！

図書館利用説明会について

今年も4月に多くの新生が図書館利用説明会に参加しました。

大学では200名を超える新生が、また学科やゼミ単位による説明会には約300名の新生が参加しました。この他3・4年生の授業やゼミにおいて、卒業論文、卒業研究に向けた文献探しのガイダンスを随時行っており、4・5月の2ヶ月で約350名の学生が参加しました。

短大においても、図書館見学ツアーおよび学科やゼミ単位によるガイダンスを行い、新生のほとんどが参加しました。

この他2年生の授業やゼミにおいて、卒業研究に向けた文献探しのガイダンスを随時行っております。

ルールを守りましょう

◎図書館内は飲食厳禁です。飲み物や食べかすがこぼれるとこんなことになります。



- ・資料等にシミがつく
- ・他の人の資料や荷物を汚す
- ・虫食いが生じる
- ・他の資料にも虫が付く
- ・嫌な思いをする

最終的に資料等の利用ができなくなってしまいます。マナーはきちんと守りましょう。

◎本が泣いています。利用した本は元通りに戻してください。



皆さんも知っている通り、図書館の資料はラベルの順に並んでいます。

ラベルの番号は図書館の中で資料を探す時の、住所のようなものです。

手にとってご覧になった資料は、必ず元の場所に戻すことを心がけてください。

※※いんふお-め-しょん※※

2008年7月～2008年11月

大学図書館

開館時間

通常：月～金 8：50～19：30
土 8：50～17：00

試験期 (7/1～8/2)

月～金 8：50～19：30
土 8：50～18：00

※8/2(土)は試験最終日のため、16：00で閉館

夏休み期間 (8/3～9/21)

月～金 9：00～16：00
※土・日曜、祝日休館

休館日

夏休み期間：毎週土・日曜、祝日、8/8(金)～8/18(月)

試験期の貸出

7/1(火)～7/26(土) 3日間貸出

対象：大学生、短大生、科目等履修生

夏休み特別貸出

図書 期間：7/28(月)～9/10(水)
冊数：無制限

返却日：9/24(水)

※指定図書・雑誌は通常貸出です。

卒論作成者のための特別貸出

対象：博士論文・修士論文作成者
卒業論文作成者(全ての学科)

受付期間：10/1(水)～12/4(木)

貸出期間：貸出日から30日間

冊数：無制限

※卒論・修論特別貸出対象資料は、大学図書館での貸出資料のみです。

※指定図書・雑誌は通常貸出です。

○常磐祭のため11/7(金)～10(月)は休館

○祝日の授業実施日は通常開館

○詳細や変更は掲示等でお知らせします

編集後記

Library Mate 40号はいかがでしたか。

今号で紹介した、多田基旧蔵資料や紫式部集といった資料のほかにも、図書館では数多くの貴重な資料を所蔵しています。皆さんもご覧いただけますので、図書館までお申し込みください。また、新設した児童書コーナーもどんどん充実していきます。乞うご期待！

短期大学図書館

開館時間

通常：月～金 9：00～18：45
土 9：00～16：00

試験期 (7/1～8/2)

月～金 9：00～18：45
土 9：00～17：00

*但し、8/1(金)は9：00～17：45

8/2(土)は9：00～16：00

夏休み期間 (8/4～9/13)

月～金 9：00～16：00
※土・日曜、祝日休館

休館日

夏休み期間：毎週土・日曜、祝日

8/11(月)～8/29(金)は、夏期休業
及び蔵書点検のため休館

校外研修日：10/16(木) (図書館は書庫整理)

試験期の貸出

7/1(火)～7/26(土) 3日間貸出

対象：大学生、短大生

夏休み特別貸出

図書 期間：7/28(月)～9/4(木)
冊数：無制限

AV資料 期間：7/28(月)～9/11(木)
冊数：6点

返却日：9/18(木)

※指定図書・雑誌は通常貸出です。

Library Mate 第40号 2008年7月

発行所 実践女子大学図書館
東京都日野市大坂上4-1-1
URL:<http://www.jissen.ac.jp/library/>
実践女子短期大学図書館
東京都日野市神明1-13-1
URL:<http://www.jissen.ac.jp/library/jcol/>
発行責任者 栗原 敦